



令和6年7月

仲町地区区民と区長との懇談会 報告書

板橋区政策経営部広聴広報課

目 次

	ページ
I 概要	1
II 区長冒頭挨拶	2
III 質問要旨及び区長回答	
1 番 公園の設置について	3
2 番 東武東上線中板橋駅付近の鉄道立体化について	3
3 番 大山駅周辺の地域防災力の向上について	4
4 番① 大山駅付近の東上線連続立体交差化（高架化）事業の検討状況と、高架下活用について	5
4 番② 駅前広場整備の進捗に伴う、東上線沿線の側道付近へのごみのポイ捨て、不法投棄防止策について	5
5 番① 板橋公園（通称：板橋交通公園）の再整備について	6
5 番② 板橋公園（通称：板橋交通公園）の再整備について	6
6 番 災害時における生活用水対策について	7
7 番① 成人の日のつどい（現二十歳のつどい）について	8
7 番② 路上喫煙対策について	9
IV 懇談（意見交換）	
支え合い会議仲町地域主催「元気になろう 私のじまん展」について	10
V 区からの情報提供	13
VI 区長結び挨拶	15

I 概要

1 開催日時

令和6年7月29日（月） 14：00～15：30

2 開催場所

仲町地域センター

3 出席者

住民側 41 名

町会・自治会及び関係団体		41 名
	発言者	8 名
一般公募		0 名
	発言者	0 名
	傍聴者	0 名

区側 11 名

区長、政策経営部長、危機管理部長、区民文化部長、健康生きがい部長、資源環境部長、まちづくり推進室長、土木部長、地域教育力担当部長、仲町地域センター所長、広聴広報課長（司会）

Ⅱ 区長冒頭挨拶

日頃から区政全般にわたり、ご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

仲町地区の皆様には、自治会活動などを通じて、住民相互の親睦と交流を深め、地域の活性化と安心・安全なまちづくりに多大なる貢献をされておりますことに、深く敬意を表します。

さて、仲町地区では、3月24日には「仲町地区桜祭り」が板橋交通公園にて開催され、参加人数4,000人もの大盛況であったと伺っております。秋には、6年ぶりとなる地区運動会を開催予定ということで、計画の中にジュニアリーダーなど各年齢の声が反映されているとのことで、とても楽しみにしているところです。

また、ドッジボール大会やウォークラリー大会など小さなお子様から青少年まで楽しめるイベントを盛況に実施している姿には感謝の気持ちで一杯です。区内で仲町地区だけが行なっている中学生向けのドッジボール大会にも、一層の盛り上がり进行期待しております。

そして、春・秋のクリーン作戦に加え、熊野支部と協力し区域を超えて地域の清掃を実施するなど、より良い環境の維持に向けて尽力している皆さまの活動にも心から敬意を表します。

これからも地域としての連携を深め、更なる発展を遂げられるよう引き続き全力でサポートしてまいりますので、何卒よろしくご協力をお願い申し上げます。

さて、今年度は、1月に策定した「いたばしNo.1実現プラン2025改訂版」の始動の年であります。「未来を担う人づくり」「魅力ある元気なまちづくり」「安心・安全な環境づくり」に取り組み、次世代へつなげるSDGs未来都市として、持続可能な区政を皆様とともに実現してまいります。

「魅力ある元気なまちづくり」「安心・安全な環境づくり」への取組として、仲町地区の大きな柱となるものが、魅力あるまちづくりの推進と考えております。

仲町地区の皆様におかれましては、板橋公園の再整備に関する「ワークショップ」や「社会実験としての公園マルシェや納涼祭」の開催など、地域コミュニティの拠点形成の実現に向け、多大なご協力をいただいていることに改めて感謝申し上げます。

今後も、「あたたかい人づくり、やさしい区政」を信条に、区民の皆様の中に寄り添った取組を進めるとともに継承と刷新の精神で積極果敢にチャレンジしてまいりますので、引き続き、区政に対するご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

前回の仲町地区における懇談会は、令和元年6月であり、早いもので6年が経過いたしました。

本日は、地域の課題はもとより、区政全般にわたる課題や、ご要望などを、直接、お伺いできる貴重な機会となりますので、これを活かした地域の課題解決、区の発展につなげてまいりたいと考えています。

短い時間となりますが、有意義な懇談会にしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1 番 公園の設置について

仲町町会ご質問（要旨）

当仲町町会区域には大規模マンションの建設も予定されており、世帯数の増加が見込まれているが公園が「さざんかの広場」のみである。

旧板橋看護専門学校（仲町1-1）の跡地に、地域住民のいこいの場や防災活動の拠点となるような公園が設置されるよう、関係機関と協議を行っていただきたい。

区長回答

緑をどのように確保していくのかということは、まちづくりの大きなテーマの一つとなっております。

仲町町会の区域には、公園が「さざんかの広場」のみとなっております、仲町区域に公園が少ないことは認識しておりますので、公園に適した用地が確保できれば、設置を検討していきたいと考えております。

旧板橋看護専門学校跡地の活用については、以前から東京都に今後の方針を確認しておりますが、現時点ではこれまでと変わらず、将来については未定との返事しか頂けておりません。

今後とも機会を捉えて、仲町町会の要望もお伝えしながら、継続的に東京都の活用方針を確認してまいります。

2 番 東武東上線中板橋駅付近の鉄道立体化について

中板橋町会ご質問（要旨）

東武東上線の鉄道立体化については、大山駅付近の認可が下り、ときわ台駅から上板橋駅についても計画化されているようである。中板橋駅が取り残されないよう一体的な立体化が必要と考える。立体化の早期実現に向け、東京都をはじめとした関係機関との協議を行っていただきたい。

区長回答

踏切の解消などの観点から、ときわ台と上板橋が一体化の対象とされており、大山でも工事に着手しているところですが、その間の中板橋については、東京都の方針において鉄道立体化の計画はなされておらず、立体化を促進していくうえでは、鉄道沿線のまちづくりと一体的に進めていく必要があります。

現状の中板橋駅付近は、駅までのアクセス性を高める駅前広場などが整備されておらず、将来的な立体化を見据えるためには、これらの基盤整備に伴う、地域住民のご理解とご協力が不可欠となります。

そのため、今年度から、地元町会や商店会等の方々と意見交換を重ね、地域住民が主体となる、まちづくり協議会を立ち上げる予定です。

中板橋駅付近の立体化については、このようなまちづくりの機運醸成や地域住民のご理解とご協力のもと、「ときわ台駅～上板橋駅付近」との同時施行も視野に入れながら、東京都をはじめとする関係機関とも協議しながら、検討を進めてまいります。必ず実行したいと考えますので、是非まちづくり関係課への後押しをお願いいたします。

これからの中板橋は、100年経った東武東上線の歴史において、次のステージへ導く非常に重要な土地ですので、次の時代へ確実につなげていけるよう考えております。

3番 大山駅周辺の地域防災力の向上について

大山町会ご質問（要旨）

大山町会は、大山駅から川越街道に延びるハッピーロード大山商店街に隣接しており、昨年10月のデータによれば、およそ2200世帯、3600人ほどが暮らしている。大山駅周辺のまちづくり事業により、ハード面における防災性の向上が期待される一方、集合住宅の増加に伴い、地域での人と人との関わりが希薄になっているように感じられる。多様な住まいの形態がある中で、すべての地域住民が安心して暮らしていける防災の形、地域防災力の向上のためには、ソフト面での取組も重要と考える。

大山駅周辺において、今後、建設が集中的に予定されている大規模集合住宅と町会が連携して防災・減災に取り組めるような仕組みづくりを求める。

区長回答

ご指摘のとおり、現在、大山駅周辺を含む板橋区内では、マンションが多く建設されております。また、マンションの居住者と町会は、お互いに接点を持ちにくいところのご意見も、多く聞いているところで

す。

地域の防災・減災の取組にあたっては、日頃から住民がお互いにつながりを深めたうえで、共助の精神のもと、いざというとき助け合って、一人でも多くの命を救うことが重要です。

今年度、東京都が、地域におけるつながりの構築・強化と防災力の向上を図るため、町会とマンションが合同で実施する防災訓練を支援する事業を実施しております。マンションと町会が協力し、合同防災訓練などを行う際は、東京都が区や消防署などと連携し、訓練の企画・準備・開催を、きめ細かくサポートする事業です。この事業の活用にあたっては、危機管理部地域防災支援課まで、ご相談ください。

マンションについては、「マンション管理計画認定制度」という制度があり、認定されたマンションでは、マンションの価値を高めるため、マンション管理組合が地域の町会と防災訓練をやったり、キッチンカーを呼んだり、マンション内で物産展を行うなど、町会とマンションとで非常に友好的な関係を築いている事例もあります。このようにマンションを上手に利用したコミュニティができあがると、そ

のマンションだけではなくその地域全体の価値が高まり、安全で住みやすい地域づくりができるものと期待しています。

また、区内の18地区ごとに「地区別防災マニュアル」があり、仲町地区は、平成27年度に作成しております。作成後、10年を経過した地区からマニュアルの更新を行っており、仲町地区は令和8年度に更新する予定です。地域特性や10年間の状況の変化などを踏まえつつ、防災面における町会と大規模集合住宅との連携などについても、マニュアルの更新時に、改めて整理したいと考えております。

4番① 大山駅付近の東上線連続立体交差化（高架化）事業の検討状況と、高架下活用について

大山本町会ご質問（要旨）

大山駅付近の東上線連続立体交差化事業の計画段階において、東武鉄道や東京都、関係機関と、東武東上線大山駅付近の鉄道立体化により生み出される高架下空間の活用について協議を重ねていただいているところである。

高架下空間に、「地域コミュニティ力向上のための活動スペース」「地域の絆の象徴である神輿の保管・展示スペース」が確保されるよう関係機関に働きかけることを3度にわたり要請してきたが、現在の検討状況はどうなっているか。

区長回答

大山駅付近の鉄道立体化により生み出される高架下空間については、まちのにぎわいなど、駅周辺地区との一体化を進めるために必要であると認識しております。

高架下空間の活用にあたり、施設の用途や配置等の全体的な方針を定める必要があり、この方針の中で、施設の利用方法等について検討していくこととなります。

現時点では、活用できる高架下空間の具体的な位置や面積等は決定されておらず、本格的な協議を実施できる段階となっております。

今後は、連続立体交差事業の進捗を踏まえ、沿線の関係者の方々から意見をいただくとともに、東京都や東武鉄道に対しても積極的に働きかけ、高架下空間を活用した事例等についても研究してまいります。

4番② 駅前広場整備の進捗に伴う、東上線沿線の側道付近へのごみのポイ捨て、不法投棄防止策について

大山本町会ご質問（要旨）

大山駅前広場整備事業に向けた土地の買収が進んでおり、一時的に閑散となっている東上線沿線側道付近にごみのポイ捨てや不法投棄が散見される。

町会で清掃に取り組んでいるが、コロナ禍が明け、人々の活動が戻ったこともあり、対応が追いつかない状況である。

東武鉄道にも働きかけをしているが、区としても注意喚起やパトロール等、対策を求める。

区長回答

ご要望いただいている東武東上線沿線の側道付近は、東京都が事業主体として進めている、東武東上線大山駅付近連続立体交差事業の事業用地の範囲です。

現時点で、この側道付近は私有地であり、不法投棄等が確認された場合、私有地を管理する所有者が対応することとなるため、区が直接的な対策等を講じることは困難な状況です。

一方、区としては、私有地の所有者や事業主体である東京都に、町会の方々が実施している清掃活動の状況を伝えるとともに、側道付近の状況について可能な範囲での確認を継続してまいります。

5番① 板橋公園（通称：板橋交通公園）の再整備について

幸町町会ご質問（要旨）

板橋公園の再整備について、令和6年4月に配布された小冊子によると、「具体的な整備内容については、事業者提案を受け、基本設計が固まり次第改めて公表する」ということであったが、地域住民同士が交流できる機会や場所の提供を、この場を借りて町会としてお願いしたい。

区長回答

令和6年3月に策定した「板橋公園基本計画」では、地域の皆様をはじめ、多種多様な人々の利用、交流が行える「地域コミュニティ空間」を設けることとしております。

具体的には、現在の板橋交通公園内集会所よりも広く、様々な用途で利用できる多目的ホールや、桜祭りなどの地域イベントが行える広場の設置をイメージしておりますが、どのような整備内容にするかは、事業者の提案によって決定します。この事業提案により、Park-PFI方式を一部取り入れようと考えており、行政サービスに加えて、民間のサービスも加えた事業になるものと予定しております。

また、指定管理者制度を導入し、指定管理者が区や地域と連携しながら、例えば、七五三などのライフイベント、地域の行事や交通安全教室などのイベントを定期的に企画・実施することで、地域交流できる機会を提供する予定です。

5番② 板橋公園（通称：板橋交通公園）の再整備について

幸町町会ご質問（要旨）

幸町は区立図書館の圏域から離れており、特に高齢者は不便を感じている。新たな板橋公園内に図書館の設置を求める。

区長回答

板橋公園の整備については、これから事業者を交えて、また区民の皆さん、地域の皆さんの声を反映しながら、板橋公園においても、荒川のかわまちづくりと同様に、キッチンカーによるサービスの提供など、車を使ったサービスを提供していこうと考えております。

情報提供する空間であったり、あるいは皆さんと共にミーティングをしたり、今まで育った大きな木を活かしながら、自然を感じる空間づくりなど、今までの公園の良いところを活かした計画ができるものと考えております。

現在12館ある区立図書館の配置数は、区の人口や面積などに対して妥当であると考えており、板橋公園内において新たに設置する予定はございません。

なお、無印良品南町22にご協力いただき、7月から「図書返却ポスト」を新たに設置したところであり、ぜひご活用いただきたいと思います。

一方、板橋公園の再整備にあたり実施したワークショップやヒアリングなどでは、青空絵本会の開催や図書館などの文化施設の設置などを求める声がありました。

また、現在の板橋公園では、都電・都バスの中に絵本を置いており、子どもたちが絵本を読むことができるスペースを設置しております。

これらを踏まえ、再整備後の板橋公園では、公園を利用する方々や地域の方々が利用可能な、板橋公園ならではの読書コーナーの設置や、本の提供サービスを検討しており、運営の主体となる指定管理者の知見も入れながら、実現をめざしたいと思います。

6番 災害時における生活用水対策について

弥生町南町会ご質問（要旨）

今年元日に発生した能登半島地震の際、地域住民から「生活用水に井戸水を利用できたことで助かった」との声があったと聞いている。

このことから災害時における生活用水の確保対策として、井戸水の活用が有効と考えるが、地域に多くの井戸があるにも関わらず、使用できないものが多い。災害時に有効に活用できるような仕組みづくりを求める。

区長回答

災害時における飲料水や生活水の確保については、避難生活を送るうえで、最重要課題の一つであると認識しております。

仲町地区の避難所には、災害時でも水を確保することができるように、耐震化が完了している「応急給水栓」を設置しているとともに、付近の消火栓から給水が可能な「スタンドパイプ」も備蓄しております。

防災井戸は、水道の耐震性が脆弱な時代に、基準に適合した場合に限り設置されてきましたが、耐震継手の施工など水道管等の耐震化整備により、現在では、災害時の避難所における水源確保の見通しがついているため、既存の水道管に関してはご安心いただきたいと思います。

しかし、防災井戸に関しても、ポンプを使わず自力でくみ上げることができ、災害時など何かしら使う機会があると考えられるため、維持・管理をして今ある本数を減らさないようにした方がいいと考えております。

また、避難所以外にも、大谷口給水所など区内の8か所に「給水ステーション」を設置しているとともに、「生活水の供給等に関する協定」を民間事業者と締結するなど、水を提供するための様々な体制を整えております。

区では、板橋区地域防災計画に基づき、地域住民の皆様が、安心・安全を実感できるよう、万全の準備に努めてまいります。

最後に、区では全世帯を対象に、感震ブレーカーや家具転倒防止器具、携帯トイレなどを選択するこ

とができる防災用品等配付事業を、11月以降から実施する予定です。

この機会に、防災意識を高める啓発冊子も作成する予定であり、板橋区全体の防災力をさらに高めていきたいと考えているので、ぜひ、活用していただきたいと思います。

**7番① 成人の日のつどい（現二十歳のつどい）
について**

弥生町北町会ご質問（要旨）

令和3年1月の成人の日のつどいは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となり、一生に一度の大切な節目の行事が無くなったことにより、大変悲しい思いをした。

他の自治体では、緊急事態宣言解除後、代替案として成人の日のつどいの振替などが行われているところもあったが、板橋区では残念ながらそういうことはなかった。

新型コロナウイルスのようなパンデミックが今後また起こるかも分からないが、そのような事態に陥った時に、自分達よりも若い世代が、節目を迎えるイベントを失って悲しむことがないようにしてほしい。例えば、規模の縮小や延期、感染状況が落ち着いてから開催するなどの代替案を検討するよう求める。

区長回答

令和3年1月当時の新型コロナウイルスを取り巻く状況は、人類にとって未知のウイルスという認識であり、ワクチン接種もまだ行われておりませんでした。加えて、政府において、第2回目の緊急事態宣言を、1月中には発出する準備を行っているような時期でした。

このような状況の中、板橋区では、「成人の日のつどい」について、直前まで可能なかぎり開催に向けた準備をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大を受け、開催中止という、苦渋の決断をせざるを得ず、新成人の皆様、ご家族、関係者の皆様には、大変残念な結果となってしまいました。

しかしながら、区としては、新成人の皆様への祝福を込めて、メッセージ動画の配信と、エコバックや区長からのメッセージ、区立美術館・熱帯環境植物館の招待状などを一つにまとめた記念品のセットを、新成人の対象者全員に郵送するなど、式典の開催は中止したが、いわゆる「三密」を回避できる方法で、お祝いを実施しました。

今後も、緊急事態宣言の発出や、感染拡大による医療提供体制のひっ迫等により、国や東京都からイ

ベント開催の制限要請が出され、やむを得ず式典を中止とすることもあり得ますが、その際であっても、同窓生が交流できる機会や、記念撮影ができる場を用意するなど、新成人の皆様に寄り添った対応を検討してまいります。

7番② 路上喫煙対策について

弥生町北町会ご質問（要旨）

東武東上線中板橋駅を利用しているが、駅周辺には計 4 ヶ所の灰皿が設置されており、受動喫煙に悩まされている。

調べたところ、路上喫煙を全面禁止している区は 23 区の中で 8 区あり、一部の地域で禁止している区は板橋区も含めて 15 区となっている。

今後高層マンションが増え、子どもの数も増えることになる、子どもの健康を害することにもつながりかねない。近隣住民や駅利用者の健康が脅かされているため、板橋区も率先して路上喫煙対策をしてほしい。

区長回答

板橋区では、たばこを吸う人と、吸わない人が共存するまちを目指しております。

板橋区のルールとして、条例にて、区内全域において「ポイ捨て」の禁止と、「歩きたばこをしないよう」に努力義務を規定しております。また、中板橋駅周辺は入っておりませんが、区内 8 地区を全面禁煙と規定しております。

罰則等の規定はありませんが、中板橋駅を含む区内 24 の駅頭に喫煙マナー指導員を巡回配置し、午前または午後の時間帯に呼びかけ指導を行っているほか、年間約 30 回程度、啓発音声を流しながら清掃活動を行う迷惑喫煙防止キャンペーンを実施しております。あわせて、区が管理する道路上への路面ペイントの実施や、区の広報車による啓発アナウンス等を実施しております。

一方、令和 2 年 4 月から全面施行された改正健康増進法や東京都受動喫煙防止条例では、飲食店やオフィスなど原則「屋内」でたばこを吸うことはできなくなりましたが、「屋外」は規制がなく、法で“配慮義務”が規定されるのみとなっております。

中板橋駅周辺については、灰皿が設置されている場所が私有地内であり、行政で規制や撤去は出来ません。灰皿を設置している敷地所有者に対して、既に複数回、区から配慮義務の啓発などを行っているところですが、改善されていないことは誠に心苦しく思います。

望まない受動喫煙防止のため、引き続き周知啓発を行っていくとともに、町会の方々のご意見や商店街の声を聞きながら、地域の方と一緒に、適切な喫煙場所について考えてまいります。

支え合い会議仲町地域主催

「元気になろう 私のじまん展」について

活動紹介

1 「支え合い会議」

「元気になろう 私のじまん展」とは

「支え合い会議」とは、住み慣れたまちで元気に暮らし続けられるような地域づくりを進めていくための団体です。

支え合い会議仲町地域では、絵画や写真、手芸作品等、地域にお住まいの方の趣味や特技、自慢したいものを展示する作品展「元気になろう 私のじまん展」を開催しています。

2 令和6年6月「元気になろう 私のじまん展」

開催の様子

開催前日、支え合い会議のメンバーが協力して、会場設営を行いました。事前に出展者から預かった作品を手分けして、展示していきます。

設営修了後、出展者から続々と作品が搬入されました。今年のじまん展には、97 名の方から 200 点に及ぶ“じまん”の作品が寄せられました。

前日の会場設営と作品展示が終了。いよいよ、明日は本番です。

6月8日（土）、9日（日）「元気になろう 私のじまん展」当日です。全体ミーティングの後、いよいよ開場です。会場内では、お年寄り相談コーナーや、脳トレ講座、お茶コーナーも開催しました。今年のじまん展には、2 日間で 300 名を超える方が来場され、各作品の前では、たくさんの交流の輪ができていました。

支え合い会議仲町地域では、今後も地域の皆様が住み慣れたまちで元気に暮らし続けられる“地域づくり”に取り組んでいきます。

3 「元気になろう 私のじまん展」開催の経緯

「元気になろう 私のじまん展」の実施を思い付いたのは、2022 年。コロナ禍で少し外出ができるような状態の時でしたが、お年寄りが外に出ることができず気の毒で、フレイル予防にもならないということで、板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見の5地域で運営されている、支え合い会議板橋ブロックで、

「お年寄りに元気になってもらいたい」という考えから、なにか自慢のものがあれば出していただきたいという話になりました。

コロナ禍で会場展示に来られない方もいらっしゃるため、写真を撮ってオンラインでも配信することとしました。ハッピーロード大山商店街さんにご協力いただき、商店街のモニターで流していただいたり、ジェイコムさんにも協力いただき、ニュース映像を流していただいたりしました。

こちらは、板橋区立のグリーンホールで、令和4年の4月14日、15日、16日と3日間開催し、5地域合同で行ったため、とても盛大なものになりました。

翌年またじまん展を開催するかどうかの話になった際、90 歳以上のお年寄りの方など、「来年はじゃあこれ作ってみよう」「あれ作ってみよう」と仰る方がたくさんいらっしゃいました。グリーンホールの会場を3日間確保することが難しそうだったため、地域として我々仲町地域単独でやってみようという話になりました。令和5年6月9日、6月10日、仲町地域センターの会場で、今年と同じ形式で開催いたしました。76名・団体の作品を展示し、275名の方が来場しました。その際にも、「次はこういうものを作ってみよう」「ああいうのを出示してみたい」といったお声をたくさんいただき、今年も第3回目となる「元気になろう 私のじまん展」を仲町地域で開催する運びとなりました。

4 じまん展を振り返って・区への要望

「元気になろう 私のじまん展」は、このような形で8町会の方々が協力して実施しました。支え合い会議のメンバーは、「このじまん展を開催することが“じまん”だ」と感じています。

出展者のご家族の方からは、「全く外に出られなかった出展者が、このじまん展のことを聞いて、やっと外に出られるようになりました」など、涙なしでは語れないようなご報告をいただきました。これこそが、我々支え合い会議の目的としているところであると痛感しています。「じまん展で新たなつながりができて本当によかった」「来年開催があれば、子どもの作品を出してみたい」と仰る方もいらっしゃいました。このように、自分の作品を展示できる

機会を心待ちにしている地域の方も増えており、じまん展は地域の行事として定着しつつあります。

区においても、支え合い会議の取組や協力委員の募集のPRについて、より一層ご協力いただきたいと考えております。

また、日時は未定ですが、来年も仲町地域で、じまん展を開催する予定でありますので、ぜひ区長さんも出展していただければと思います。

健康生きがい部 要望に対する回答

本日発表いただいた「元気になる 私のじまん展」は、仲町地域の方々の、支え合い・助け合いに向けた活動であり、板橋区がめざす「年を重ねても安心して住み慣れたまちに住み続けること」の実現につながる取組で、大変ありがたく感じております。

現在、区公式ホームページでは、「支え合い会議仲町」のホームページへ移動できるよう、リンクを貼っているほか、お作りいただいたリーフレットや広報誌の掲載、また仲町以外の各地域における支え合い会議（第2層協議体）の活動について、情報発信を行っているところです。

今年度は10月28日～11月1日の期間、区役所本庁舎1階イベントスクエアにおいて、支え合い会議の周知・PRを目的として、活動状況のパネル展示、発行物の配布などを実施する予定です。

令和6年2月には、区立文化会館大ホールで「地域づくりセミナー」を開催し、支え合い会議の活動事例の共有や、新たな担い手の発掘などの取組を行いました。

また、区内民間事業者と「地域住民等の見守り・地域づくりに関する協定」の締結を進めており、各地域の支え合い会議の活動への協力をお願いしているところです。

今後も、これらの取組に加え、様々な資源を活用し、支え合い会議の取組や協力委員の募集などに関するPRを充実させ、誰もが住み慣れた町で住み続けられる社会の実現に向けて、皆さまと連携・協働していきたいと考えております。

区長総括

仲町地域の皆様におかれましては、日頃より、板橋区政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、本日は「支え合い会議仲町」主催による「元気になる 私のじまん展」のご報告をいただき、重ねて感謝申し上げます。

完成形だけではなく、会場をどのようにして作っていたのか、様々なアイデアが込められた動画を拝見して、みなさんで作りあげたということがよく伝わってきました。

令和2年を含め、当時を振り返ると、コロナ禍による活動の自粛や3密の防止など、社会において大変厳しい状況でした。この時期に、区はコロナ禍を乗り越えるため、大きく3つの方針を立て、取組を進めて参りました。一つ目は、「誰一人取り残さない」という精神のもと、SDGsの取組を展開してきました。二つ目は、DXの活用ということで、様々な会議などをリモートで開催することとし、地域センターで町会の皆さんにご協力いただきながら、大きな会場に集まらなくとも済むようにいたしました。このじまん展もDXを活用し、会場までは足を運ばなくとも、作品の写真を送ることで、多くの人に見てもらえるということで、とても素晴らしい取組だと感じました。三つ目は「ブランド戦略」ということでしたが、このじまん展もコロナ禍の限定的な開催に留まらず、今後も様々な方の知恵を集結させて、まさに皆が“じまん”できるような作品展になっていくものと期待しております。この取組については、地域の支え合い会議の中の一つの大きな行事として、この行事に向けて制作活動を1年間かけて準備をするというように、時間軸を考えながら日々制作活動を進めることができるという点でも、非常に価値があるものと考えます。

区としても、この取組に関しては一緒に取り組んでまいりたいと思っております。また、私自身も書道を嗜んでおりまして、もし場所が少しありましたら是非参加させていただき、厳しい批評をいただければと思います。

平成30年に発足した「支え合い会議仲町」におかれましては、「地域包括ケアシステム」の実現に向けて、その中核となるような取組として、地域で

困ったことや、あるいは気になったこと、地域の活動の好事例などを持ち寄り話し合っただき、他の地域とも情報交換をしながら、情報発信活動のさらなる質の向上に繋がっていくことを心より願っております。

「じまん展」は、令和4年にスタートして、今回で3回目の開催となりました。ぜひこの活動を続けていくことによって、支え合う力の強い仲町地域になっていくことを期待しております。私どもも、地域包括ケアシステムの実現に向けて全力で取り組むことをお誓い申し上げます。支え合い会議仲町地域のますますの活躍をお祈り申し上げ、お礼を申し上げます。

仲町地区区民と区長との懇談会 区からの情報提供

1 熱中症予防のために

熱中症とは、身体が暑さに対して適応できず、体の中の水分や塩分のバランスが崩れることにより起こる病気です。高温多湿で、風が弱かったり、日差しが強かったりすると熱中症が発生しやすくなります。気温などの環境条件だけでなく、日ごろの体調や暑さに対する慣れなども影響します。

適切な予防法を知り、早めに対処することで重症化を防ぐことができますので、暑さを避け、こまめな水分補給と体調管理により熱中症を予防しましょう。

区では、62か所の一時休憩所を6月1日から10月23日まで、区役所本庁舎1階をはじめとする区内施設にて開設しておりますが、「特別警戒アラート」が発出された際は、区ではクーリングシェルターとして開放します。対象施設の詳細は、「クーリングシェルター 一覧」をご確認いただき、外出時などの休憩に、お気軽にご利用ください。



熱中症予防リーフレット



熱中症対策 一時休憩所
案内のぼり旗

2 令和5年7月1日に板橋区LINE公式アカウントを開設しました。

LINE 公式アカウントでは、防災、子育て、ごみ・リサイクルなどのくらしに関する情報や、イベント情報のほか、受け取りたい情報をカテゴリー別を選択することができます。また、メニューからは、区ウェブサイトへ手軽にアクセスすることができます。

便利な機能がたくさんありますので、ぜひ友だち追加してご利用ください。

(友だち登録の方法は、次頁をご覧ください)



登録方法 1

右の二次元コードから友だち追加

登録方法 2

LINE アプリのホーム画面の ID 検索画面から「@itabashi」と検索し、友だち追加



3 こんなトラブル相談増えています！安価な不用品回収サービスのはずが高額請求に

○相談事例

「2トントラック詰め放題」とのインターネット広告を見て事業者に不良品回収を頼んだところ、作業当日に「不良品を載せることができるのは荷台の高さ（20～30cmまでだ）」と言われた。詰め放題ではなかったので回収を断ると、「キャンセル料 15,000 円を支払え」と言われ、しかたなく支払った。

○消費者センターからのアドバイス

- ・区から一般廃棄物処理業の許可を受けず、回収する業者へ依頼することは避け、事前に見積もりを取り、作業内容や料金を明確に出してもらいましょう。
- ・廃棄物として処理する場合は、「板橋区粗大ごみ受付センター」や「家電リサイクルセンター」へ申し込むなど、区のルールに従い、適正に処理するようにお願いいたします。

こんなトラブル相談増えています！
安価な不用品回収サービスのはずが高額請求に

相談事例

●家の整理をしようと思い「2トントラック詰め放題」とのインターネット広告を見て事業者の不用品回収を頼んだ。作業当日に「不用品を載せることができるのは荷台の高さ（20～30cmまでだ）」と言われた。詰め放題ではなかったので回収を断ると、「キャンセル料 15,000 円を支払え」と言われた。支払わないと作業員が帰らなかったため、しかたなく現金を支払った。

消費者センターからアドバイス

●区から一般廃棄物処理業の許可を受けず、回収を行う事業者に依頼することは避けましょう。
●事前に見積もりを取りましょう。見積もりを載せる際のポイント
・作業内容、料金を明確に出してもらおう
・キャンセル料を確認する
●廃棄物として処理する場合は、「板橋区粗大ごみ受付センター」や「家電リサイクルセンター」へ申し込むなど、区のルールに従い適正に処理するようにお願いいたします。

【板橋区粗大ごみ受付センター】
電話：03-6747-8335
（月曜～土曜の午前8時～午後7時、祝日・年末年始を除く）
インターネットから申込みできます

【家電リサイクル受付センター】
電話：0370-087200
（月曜～金曜の午前9時～午後8時、祝日・年末年始を除く）
インターネットから申込みできます

4 消費者トラブルひとりで悩まずすぐ相談 消費者トラブルホットライン 188

○188「いやや」消費者ホットライン

様々な消費者トラブルに巻き込まれたら悩まず消費者ホットラインに相談してください。消費者ホットラインは地方公共団体が設置している身近な生活相談窓口におつながります。

○板橋区消費者センター公式 X（旧 Twitter）のご案内

板橋区消費者センターは、消費者トラブル情報などくらしに役立つ情報を X（旧 Twitter）でタイムリーに発信しています。

X に登録していなくても、チラシの「二次元コード」または「URL」から情報をご覧いただけますのでご利用ください。

**消費者トラブルひとりで悩まず
すぐ相談 消費者ホットライン**

あつた、おつた、
ひたひた、に、
相談、
人、

188

「いやや」消費者ホットライン
様々な消費者トラブルに巻き込まれたらすぐ相談！
「いやや（188）」にすぐ相談し、解決してください。

消費者ホットラインは地方公共団体が設置している身近な生活相談窓口におつながります。
【板橋区】
電話：03-6747-8335
（月曜～土曜の午前8時～午後7時、祝日・年末年始を除く）
インターネットから申込みできます

【板橋区消費者センター公式 X（旧 Twitter）のご案内】
板橋区消費者センターは、消費者トラブル情報などくらしに役立つ情報を X（旧 Twitter）でタイムリーに発信しています。フォローをしよう！
・検索ワード（旧 Twitter）は「いやや」です。検索ワード「いやや」または「URL」から X（旧 Twitter）をご覧ください。
【URL】https://twitter.com/shohu_itabashi 【二次元コード】

VI 区長結び挨拶

本日は、限られた時間ではございましたが、貴重なご意見等をいただきまして、誠にありがとうございました。

本日の懇談会では、大山駅・中板橋駅周辺の環境整備に関する話題を中心に、地域コミュニティの拠点となる公園の整備に関する事、二十歳のつどいに関する事、災害時における生活用水に関する事、支え合い会議仲町地域での活動に関する事など、テーマが多岐にわたり、皆様の地域に対する関心の高さを感じる機会となりました。

皆様からいただいたご意見・ご要望につきましては、できることは速やかに実行に移し、検討・調整を要するものについても、十分に検討し、よりよい区政の実現に向けて取り組んでまいりますので、今後とも、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、安心・安全で快適な地域づくりのためには、地域コミュニティを活性化し、より発展させていく必要があることを、強く感じております。

そのため、日頃より、地域にて活発に活動されております皆様方のお力添えをいただきながら、地域課題をともに考え、問題解決に向けて、ともに取り組んでまいりたいと存じますので、引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、仲町地区の益々のご発展と、本日お集まりいただきました皆様の、益々のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お礼のご挨拶に代えさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。